

# 藤井寺 革新懇ニュース

NO 78

2009 12. 10

進歩と革新をめざす  
藤井寺の会  
(藤井寺革新懇)  
事務局 TEL・FAX  
072-  
971-0370  
発行責任者 宮野武夫  
編集責任者 久保武三

## フラッシュ

### 守ろう9条、生かそう憲法、11・14学習と交流のつどい

藤井寺革新懇事務局 久保 武三

十一月十四日、午後一時半から堺市民会館大ホールで開かれ、600人が集いました。藤井寺から十二人が参加しました。

#### スライドショー

最初の10分間は、各地での活動状況を軽快な音楽に乗せてスライドが映されました。藤井寺共同センターがジャスコ前で宣伝しているところがチラッと映りました。

講演 「民主党政権下で憲法はどうなる」  
講師 渡辺 治さん  
(二橋大学大学院教授)

一、はじめに  
総選挙における民主党政権の成立で政治も憲法にも大きな変化があるのか？

二、総選挙の結果は何をしなければいいか？  
民主党議席が激増し、自民党が激減。改憲、構造改

革に反対した共産、社民の得票は伸びなかった。保守二大政党化・・・自民、民主のキャッチボール体制。三、なぜ民主党は一人勝ちしたのか？

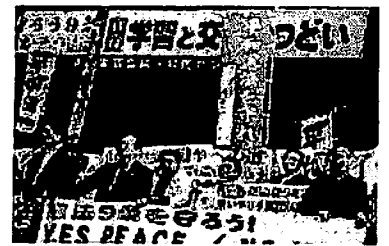
革に反対した共産、社民の得票は伸びなかった。保守二大政党化・・・自民、民主のキャッチボール体制。三、なぜ民主党は一人勝ちしたのか？

民主党を勝たせた二つの力・・・構造改革政治や改憲政治への怒りと官僚主導の政治、開発型政治を止めて政権交代をの国民の声。

大企業の儲けを拡大するための構造改革・・・労働者の賃金、大企業負担、規制緩和、企業リストラ、社会保障の削減。

改憲、軍事大国化に反対する運動が自公政権を追い詰めた。安倍政権の改憲策動に対する

改憲、軍事大国化に反対する運動が自公政権を追い詰めた。安倍政権の改憲策動に対する



る反対運動が昂揚した。「九条の会」運動が世論を変えた・・・民主党が改憲後退、首長・九条の会など保守の一部を含む広がり。60代、50代、70代など中高年パワーが初めて立ち上がった社会運動。

民主党・小沢体制下で突如の政策転換・・・反構造改革政党へ、農家戸別所得補償、子ども手当月2万6千円、公立高校授業料無償化。しかし、軍事大国問題でも「後退」の兆し、改憲問題も曖昧である。

危機感を持った財界、アメリカの圧力・・・民主党政権は安保、防衛問題で後退、動揺が見られる。三、民主党政権とは何か？

民主党政権への2つの相反する期待。構造改革への怒りの爆発と転換への期待、改憲止めて平和を。民主党の3つの構成部分、

民主党の3つの構成部分、

① 反開発政治型新自由主義派、党執行部。② 小沢1地方と新人議員・・・修正開発型政治。③ 現場の議員層と運動・・・第3グループ

四、民主党政権で改憲はどうなる？

① 明文改憲は当面遅延・・・鳩山首相は民主党きつての改憲派だが、自民党の改憲派多数が落選したことや連立相手の社民党の主張への配慮。

② 改憲手続き法も簡単に始動しない。

国民の声を受けて、改憲問題で慎重化。

③ 民主党政権下で浮上する解釈改憲・・・改憲できずアメリカの圧力強まる。米軍再編、沖縄基地問題など。

五、私たちはいま何をすればよいのか

① 解釈改憲の動きに機敏に対処する。

② 新政権に改憲しないことを約束させる。

③ 改憲阻止から憲法の実現をするには、

9条を実現するために日本だけではできない。東アジアの平和を保障して初めて実現できる。

④ 憲法の力を確信し、第2歩へ向けて前進しよう。

・自衛隊が出来て55年になるが、まだ一人の外国人も殺していない。このような軍隊を持っている国は世界に日本しかない。

・鳩山さんは東アジア共同体を明らかにしている。そのためには、反核、平和、9条改憲をさせないために運動を発展させましょう。決して観客であってはならない。

六、団体、地域の代表が決意表明

最後に藤井寺からも尾崎さん、井上さん、横田さん等が壇上へノボリを持って上がりました。

つ井 持と  
井 さんと  
のぼりを  
尾崎さん  
尾上さん



## 平和憲法を守る藤井寺共同センター

「土師の里9条の会」は11月9日、午前10時から1時間、3名で宣伝・署名行動をしました。スポット4回、パンフ74部配布、署名5筆集めました。



# 市民目線で政治を前へすすめまじょう

市会議員 西条 たか子

8月の総選挙で国民は、広がる一方の貧困と格差解消、国のあるべき方向を見直そうと、政権の担い手を変えました。

藤井寺9月市議会に、財源の大半を自公政権が経済対策として組んだ第一次補正予算からなる、総額5億3450万円の追加支出を行う補正予算が出され可決されました。

連立政権誕生直前の本会議の間で、自民党議員を中心に、「民主党のマニフェストにどう対応するのか」「第一次補正予算は執行されるのか」との質問が相次ぎました。政権交代が質問の内容を一変した瞬間でした。

自公政権の「三位一体改革」で藤井寺市も財政難に陥り、市民の願いに答えられていません。たとえ「総選挙目当てのバラマキ」であつても、貴重な財源として、活用を求める立場から共産党は賛成しました。

主な事業は、藤井寺南商店街に「まちかど情報館」の設置、市立保育所の施設整備、道明寺駅エレベーター設置補助、道明寺南小学校耐震補強工事、教育環境整備でデジタルカメラ・テレビ、授業用パソコン購入などです。

現連立政権は、自公政権時代の目玉とした「子育て応援特別手当

を削減したため、藤井寺市でもその予算約七千万円を市独自にはまかなえず、12月議会に事業を取りやめる補正予算が提案されました。

さて、民主党政権は、国民の期待に答えられるかですが、新たな「こども手当」も、財源を配偶者控除や扶養控除廃止による、増税に求めるもので、大きな批判が生まれています。

さらに、保育所の待機児童解消を理由に、国が全国一律に定めている保育所面積の最低基準を緩和する方針を示しました。

現在、2歳児以上の保育室の面積は子ども一人あたり、1.98㎡で、食事も昼寝も遊ぶのも同じ場所です。

認可保育所の多くは、70年代に整備され、ほとんどが国の最低基準を上回っており、厚生省(当時)は、98年に「定員の弾力化」を打ち出し、4月当初は定員の115%超え、年度途中では125%まで認め、2001年からは、年度後半には何人超過してもいいと子どもを詰め込んでいます。

保育室に布団を広げ昼寝する子どもたちは、寝返りも出来ない状態で、これ以上の引き下げに、強い批判の声が

## PART2 鳩山政権にモノ申す

上がっています。

政権を代えるのも、代えた政権が、政治を前へ進めるのも国民の意思と世論です。さらに前へと押し進めましょう。

### 景気回復を期待したが

小山新町 坂本 宏三

「今年は正月を越せるか、越せないかの瀬戸際だ」と駅前の飲食店の大将、消費税増税反対の署名をお願いしたら、このような言葉が返ってきました。

「ここ数年の不景気はつづき、お客が来ないため、店の収入は経費の半分以上に、僅かの年金は借金返済へまわってしまう、楽しみの銭湯も三日に一度がやるとで生活はどん底です」、このような悲鳴はあちこちで上がっています。

先の選挙で政治情勢が大きく変わり、景気回復に向かうのではと少しは期待したが、その後、2ヶ月過ぎた民主党政府は、マニフェストの高速道路無料化を実施するため増税を考えています。

日本経済は、デフレに入ったと管さんは言ったが、その対策は未だ出ない中で、財界団体が「消費税を15%以上あげて、法人税には大幅減税を」と政府に迫る。外国では、庶民の懐を暖めるために

大企業には増税し、大衆課税の消費税を減税しているのに日本ではその逆、消費税導入後二十年、その総額は二百十三兆円、そのほとんどの百八十二兆円が法人税の減税に回されました。

消費税は、人件費課税ですから正社員を少なくするほど大企業の消費税負担が減ります。また、派遣社員は「外注費」として経費で落とせるので、派遣や首切りをすすめる税となっています。

どこから見ても消費税は弱いものいじめの税金です。改めて消費税増税に反対し、生活費にかかる消費税の廃止へむけて声を大きく上げましょう。

### 後期高齢者医療制度 先送りに怒り湧き立つ

事務局長 宮澤 武夫

後期高齢者医療制度を廃止して元の老人保健制度にもどす廃止法案の(民主、共産など四党共同提案)委員会審議で提出者の代表となった民主党議員が「高齢者の皆さんが安心して医療を受けられる内容になっておりませんで、一刻も(早く)廃止させていたただきたい」と成立を求めた。

新政権ができたら当然廃止されるものと期待していたが、「戻すのに二年かかる」「廃止せずに四年以内に新しい制度に移行させる」と先送りしようとしています。世界にも例を見ない年齢によって医療を差別し抑制することを目的に

した「うば捨て」制度です。こんな異常な制度を廃止させるためには、私たちの運動で政府の姿勢をかえていくことしかありません。毎日、四千人の人たちに「あなたは、今日から後期高齢者医療制度に加入することになりました」と通知が届いているそうです。そして、保険料は二年ごとに上昇、来年四月には全国平均で12%上がります。大阪府ではもつと上がると試算されています。

あきらめずに、運動を広げ、継続することで必ず政府を動かす世論を作りだすことが出来ます。この18日に年金者組合で定例の宣伝と署名を行いました。寒い日でも条件が悪い中でしたが、わずか1時間たらずで15筆の署名を集めた方が二人もいました。しっかりと呼びかければ、怒りを束ねていくことは出来ます。

この日、藤井寺支部からは2人の参加でしたが、2人3人からでも「こんな異常なことは止めさせよう」と声を上げていくことが大切だと思えました。2010年代は、くらしでも平和でも草の根運動で政治を動かしていく時代にしていこうではありませんか。

2010年  
藤井寺革新懇  
第111回総会・講演  
会を開きます  
2月14日(日)  
1時30分～  
場所  
藤井寺市民会館  
別館・305